

事故報告について

事故報告について

1 対象

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
に基づく施設又は事業所

2 事故報告を要する事故の種類

- (1) 死亡
- (2) 骨折
- (3) 誤嚥
- (4) 食中毒
- (5) 感染症※1
- (6) 所在不明
- (7) 利用者の不利益につながる職員による犯罪行為等
- (8) その他 利用者の身体に重大な影響を及ぼす事故等

※1 インフルエンザについては、集団感染をした場合に報告。

また、これとは別に保健所等への報告義務等について、適切に対応のこと。

(8) その他

利用者の身体に重大な影響を及ぼす事故等について

- 異食
- 怪我(打撲・捻挫)
- 怪我(裂傷等)
- 金銭関係
- 誤与薬、抜薬
- 交通事故(送迎者による)
- 交通事故(その他車両等)
- 自殺企図
- 自傷
- 他害
- 利用者の触法行為
- 入院(病気)
- 虐待
- 個人情報
- その他

3 報告の手順

- (1) 必要な措置を講じるとともに、当該利用者の家族等に連絡
- (2) 4の報告先に電話にて第一報を連絡
- (3) 再発防止策等を検討の上、事故報告書(様式1)を4の報告先に郵送

4 報告先

- (1) 事業所所在地の市町村障害福祉主管課
- (2) 当該利用者の支給決定市区町村障害福祉主管課
- (3) 県障害サービス課監査グループ

5 報告の様式等

(1)要領

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための
法律に基づく障害福祉サービス事業者等の事故報告取扱い要領

(2)様式

様式1⇒別紙のとおり

《参照先:障害福祉サービスかながわ⇒書式ライブラリ
⇒1. 神奈川県からのお知らせ
⇒1 神奈川県からのお知らせ
⇒文書名「事故報告の取扱いについて」
文書内容 【通知】、【取扱い要領】、【様式】 》

※ 完治までの(予定)期間についても、報告書に記載すること。

6 平成30年度事故報告の傾向について

(1) 平成30年度の事故報告集計

	死亡	骨折	誤嚥	食中毒	感染症	所在不明	職員事件	その他	合計
4月	7	17	0	0	1	10	0	38	73
5月	5	28	1	0	1	3	1	33	72
6月	2	14	1	0	0	11	0	50	78
7月	3	34	2	0	0	2	0	56	97
8月	1	26	0	0	0	8	0	57	92
9月	3	20	1	0	1	5	0	29	59
10月	3	19	2	1	0	6	0	44	75
11月	5	22	2	0	1	5	1	43	79
12月	6	13	1	0	0	6	0	38	64
1月	7	35	1	0	6	11	0	29	89
2月	8	23	1	0	11	3	0	37	83
3月	2	28	3	0	7	6	2	38	86
合計	52	279	15	1	28	76	4	492	947

(2) 実例の紹介

居宅介護	死亡	昼食時、ヘルパーが意識を失っている当該利用者を発見し、緊急搬送する。死亡が確認された。病院にて食べ物が詰まったことによる窒息が原因だったことが分かった。
重度障害者等 包括支援	骨折	進入口付近坂道で右足の靴のつまさき側部がコンクリートの角にあたり転倒。顔、鼻、右ひざを負傷。その場で鼻と頭部、膝の止血を実施、その後整形外科に通院。
居宅介護	誤与薬・ 抜薬	ヘルパーが一日一回の薬をすでに飲ましていたのに再度飲ましてしまった。
居宅介護	個人情報	ヘルパーが他の利用者のサービス提供記録票を事前に記入し、他の利用者宅に置き忘れてしまった。サービス提供記録票は、活動前には記入せず、活動終了した時点で記入するルールを遵守することを徹底指導した。
同行援護	個人情報	サービス利用中に身体障害者手帳と当該利用者のICカードをヘルパーが預かっていたが、落としてしまった。遺失届は出した。今後は使用後すぐに本人に返却するように統一していく。